



出水期に備えた鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和7年6月2日(月) 午後2時～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事^(※)、統轄監^(※)、関係部
鳥取地方気象台、鳥取河川国道事務所、
中国電力（株）^(※)・中国電力ネットワーク（株）^(※)、
N T T西日本（株）^(※)

(※)はリモート参加

(配信) 総合事務所、消防防災航空センター、市町村、県警、消防局、自衛隊（米子駐屯地）、
倉吉河川国道事務所、鳥取運輸支局、N E X C O西日本(株)、JR西日本(株)

【次 第】

- (1) 本年の出水期の気象予測等
- (2) 市町村・県民への注意喚起
- (3) 警戒・即応体制の確保等

1か月予報

(中国地方 (山口県を除く) 1か月予報 (05/31~06/30))

中国地方 (山口県を除く) 1か月予報 (05/31~06/30)

2025年05月29日14時30分 広島地方気象台 発表

向こう1か月 05/31~06/30	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
1週目 05/31~06/06	気温	1週目は、低い確率50%です。
2週目 06/07~06/13	気温	2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。
3~4週目 06/14~06/27	気温	3~4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	中国地方	向こう1か月 05/31~06/30	20	40	40
		1週目 05/31~06/06	50	40	10
		2週目 06/07~06/13	20	40	40
		3~4週目 06/14~06/27	20	30	50
降水量	中国地方	向こう1か月 05/31~06/30	30	30	40
日照時間	中国地方	向こう1か月 05/31~06/30	30	40	30

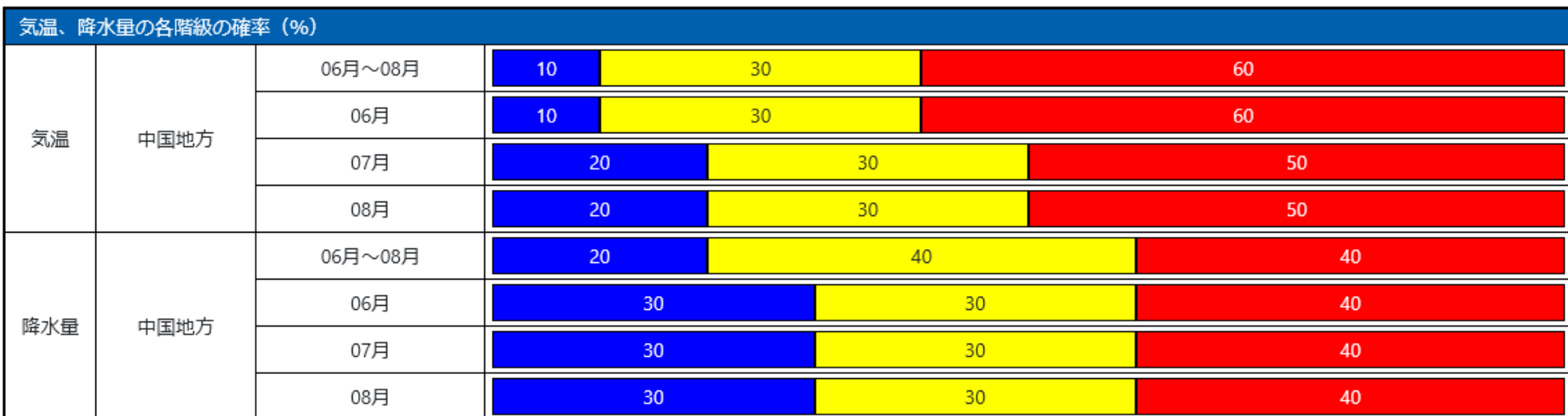
■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回は2025年06月5日(木)14時30分に発表予定

8月までの天候見通し

(中国地方3か月予報 5月20日発表より)

中国地方（山口県を除く） 3か月予報（06月～08月）		
2025年05月20日14時00分 広島地方気象台 発表		
06月～08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

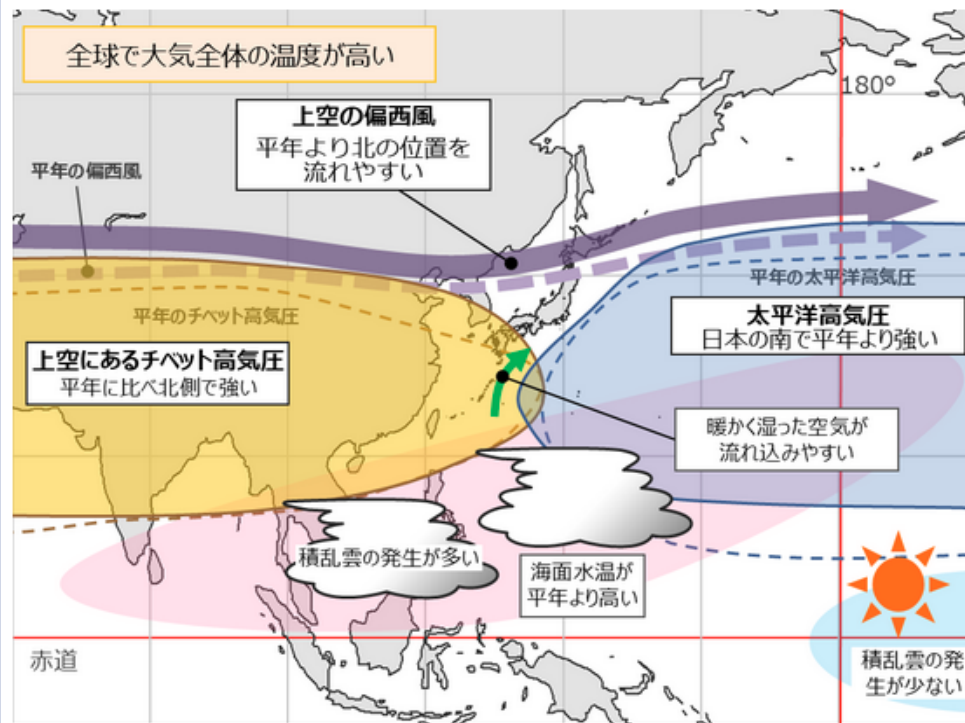


■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回は2025年6月24日(火)14時00分に発表予定

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多いでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、本州付近を中心に、梅雨前線の活動が活発となる時期があるでしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

中国地方3か月予報（令和7年5月20日発表）の解説資料より

[中国地方の梅雨]

平年	入り	6月6日ごろ	明け	7月19日ごろ
令和6年	入り	6月20日ごろ	明け	7月21日ごろ

注) 梅雨入り・明けは、一般に数日程度の幅を持つ現象（〇〇日ごろと表現）。

梅雨入り・明け（速報値） https://www.data.jma.go.jp/cpd/baiu/sokuhou_baiu.html

本県の災害対応の流れ

気象情報などの状況により、早めに対応していきます

※台風の暴風域が本県を通過する場合等は、状況に応じて早めの体制移行を判断

状況	本県の対応（基本型）
台風接近の可能性 大雨等の 警報級の可能性	「情報連絡会議」により 情報共有・注意喚起
注意報の発表	「注意体制」に移行
警報の発表	「警戒体制」に移行
土砂災害警戒情報、線状 降水帯情報の発表など	「災害警戒本部」を設置
特別警報の発表など	「災害対策本部」を設置

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 防災タイムラインを活用し、早めの災害対応

1 住民への注意喚起

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、改めて住民に周知してください。

- ・早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- ・**「警戒レベル3」**で、**高齢者等避難に時間を要する者が避難開始**すること
- ・**「警戒レベル4」**で、**全員危険な場所から避難**すること
- ・**「警戒レベル5」**で、**高台への移動、近傍の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保**すること
- ・防災・気象情報をこまめにチェックすること など

2 避難情報等の発信と周知

住民の身体・生命の安全確保のため、確実に避難行動が行われるよう、**的確な避難情報の発信と周知**をお願いします。

- ・ 夜間・危険な状況での避難とならないよう、早めの避難情報発出を検討して下さい。
※状況急変時は、夜間でも避難情報の発出が必要
- ・ 避難情報発出にあたっては、気象・河川水位等の情報を収集し、必要に応じて県関係課に助言を求めてください。
- ・ 確実に住民へ避難情報が伝達されるよう、防災行政無線他様々な手段による伝達をお願いします。
- ・ 通勤・通学時に大雨が予想される場合等は、無理な外出を控える等の呼びかけを検討ください。
- ・ 小中学校の臨時休業の基準や連絡体制等を改めて確認してください。

(1) 市町村への依頼事項(その2)

3 事前の準備

災害の未然防止、災害発生時の確実な対策実施のため、事前の準備をお願いします。

浸水リスクが高い地域の対策の準備

過去に浸水被害があった地域、孤立可能性集落など、対策の再確認

- 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- 河川に接続する農業用取水、排水樋門や操作が必要な取水堰の点検と適切な操作体制の確認
- 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

初動体制の確立

夜間や時間外を踏まえた、参集・対応体制の確認

- 職員参集体制の確認（時間外参集、呼び出し基準、参集人員）
- 気象情報の収集伝達方法・体制の確認
- 常時オンライン情報共有の接続準備（機材、URLなど）

避難体制の確立

住民の避難が確実にできるよう、体制の確認

- 避難情報の発令基準の確認
- 消防団等への連絡手段の確認
- 避難所の開設準備、開設手順、開設の連絡方法 等

避難行動要支援者等の支援

高齢者、障がい者等の避難行動要支援者や、要配慮者利用施設など、避難が困難な方の支援について準備

- 個別避難計画作成者等への情報伝達手段、避難支援体制等の確認
- 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導支援等の確認

(1) 市町村への依頼事項(その3)

4 被害規模の早期把握に向けた被害状況の迅速な報告

迅速な救助や関係機関の速やかな応援のため、避難所（支え愛避難所含む）の開設状況、孤立集落、被害情報等の迅速な報告をお願いします。（定時報告に限らず、緊急時には随時報告をお願いします。）

5 避難所の開設及び環境整備等

避難所の早めの開設と、避難行動が促進されるよう避難所環境の確保をお願いします。

避難所環境の確保

避難行動促進のため、避難者ができるだけ快適に過ごせる環境の整備

- 避難所における**熱中症予防対策**の実施（大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけなど）
- ベッド、テント、パーティションなどによるプライバシー環境の確保
- 福祉避難所の開設 等

避難所の感染症対策

人が多く集まる避難所では基本的な感染症対策を取ってください

- ① 可能な限り多くの避難所を開設
- ② 避難者の健康状態の確認
- ③ マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底
- ④ 避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

(1) 市町村への依頼事項(その4)

6 危険木等事前伐採の推進

倒木による集落の孤立やライフライン障害の発生等を防止するため、令和5年度から県・市町村・森林組合・事業者が連携し、危険木等の事前伐採を推進しています。

令和7年度も引き続き、事前伐採の推進にご協力をお願いします。

【実施状況等】

令和5年度実施実績：23地区（10市町）

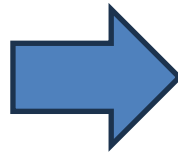
令和6年度実施実績：22地区（11市町）

令和7年度実施予定：20地区（9市町）

※令和7年度県予算 2,000万円

【事前伐採の事例（令和6年度）】

＜若桜町岩屋堂＞



(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報等に注意

最新の気象情報や防災情報（土砂災害、河川の状況等）を確認して早めの避難をお願いします。

気象情報

- ▶ **気象庁ホームページ** <https://www.jma.go.jp/>
キキクル(危険度分布)/台風情報 / 警報・注意報 など



▲キキクル（土砂災害・浸水害・洪水害の危険度）

避難情報・避難所開設

- 各市町村ホームページ
- 防災行政無線
- エリアメール など

河川の状況 等

- ▶ **鳥取県防災情報ポータル**

<https://tori-bousai.jp/>



河川のカメラ画像や水位情報等を確認可能



県の発信ツール

鳥取県の防災情報お届けツールはこちらのQRコードから



<https://www.pref.tottori.lg.jp/210753.htm>

避難情報・避難所開設状況/交通情報/道路情報/ライフライン情報 など

- ▶ **ホームページ「とりネット」**
<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

注意情報などのまとめページを設置（トップページの「防災・救急」又は特設リンクから）

- ▶ **「あんしんトリピーメール」**

スマホ、携帯電話等に気象情報・防災情報等をメールで配信

- ▶ **防災アプリ「あんしんトリピーなび」**

「あんしんトリピーメール」のプッシュ通知や最寄りの避難所情報など
9言語に対応

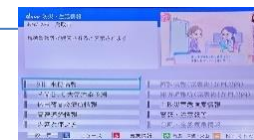


▲特設リンク



そのほか

- ▶ **テレビのデータ放送**
リモコンの「dボタン」から



- ▶ **各種スマートフォンアプリ**

Yahoo!防災速報 など



(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 災害リスクの確認、防災対策

ハザードマップで家の周囲の災害リスクや避難場所を確認するほか、あらかじめ大雨や強風に備えてください。

ハザードマップの確認など

ハザードマップ等で、自宅周辺の災害周辺地域等の危険性などを把握してください

- 周辺の危険度（浸水深、土砂災害警戒区域）
- 避難場所までのルート

ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



鳥取県ホームページ

<https://www.pref.tottori.lg.jp/323310.htm>

- 土砂災害警戒区域等の新規調査候補箇所となる「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を確認。
(令和7年5月27日公表)



災害時の行動確認

- 家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。
⇒避難場所をあらかじめ決めておく、避難ルートを確認、避難に備えてマイ・タイムラインを作成など。

災害前の備え

気象が悪化する前に、準備をお願いします。

大雨への備え

- 大雨や台風接近のニュースや気象情報などを入手したら、早く帰宅し、家族と連絡を取り合う。
- 大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝の掃除。

強風への備え

強風への備えをしておく

- 家の周囲の倒れやすいものは、固定か家の中に入れる。
- 窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- 停電・断水に備え、食料・水等を備蓄する。

強風が吹いている間は注意を怠らない

- 飛散物や転倒による負傷を避けるため、不要不急の外出は控える。
- 窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

(2) 県民への注意喚起等(その3)

3 災害情報に基づく早めの避難行動

避難開始の合図となる情報を「避難スイッチ」としてください。(気象警報、避難情報、キキクルの危険状況等)

警戒レベルと避難行動

警報や避難情報を確認し、いつ避難するかあらかじめ確認しておいてください。

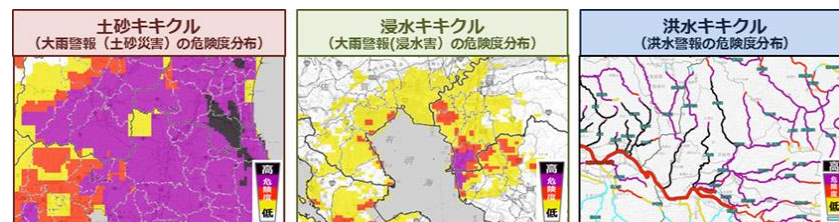
- ・「警戒レベル3」、高齢者等避難に時間を要する者が避難開始
- ・「警戒レベル4」、全員危険な場所から避難
- ・「警戒レベル5」、高台への移動、近傍の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警戒等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報 キキクル (危険度分布)	指定河川 氾濫発生情報
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難!>					
4	危険な場所から 全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報	危険	氾濫危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じて、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報※ 洪水警報	警戒	氾濫警戒情報
2	自らの 避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨注意報 洪水注意報	注意	氾濫注意情報

「キキクル」で危険を確認

「キキクル」とは <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。



近くの川や自宅が「紫」なら避難を

避難判断にあたっての注意

- ・ 中小河川は水位が一気に上昇する。
- ・ 土砂災害の前兆現象に注意。(裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など)
- ・ 外に出るのが危険な時は、屋内の少しでも安全なところへ避難。(2階、斜面から離れた部屋など)
- ・ 雨が止んだ後や弱い雨のときでも災害発生の危険。(令和3年熱海市の土石流など)

(2) 県民への注意喚起等(その4)

4 避難等にあたっての注意事項

周囲の状況を確認し、安全を確保して避難してください。

避難時の注意

周辺が浸水した状態では、足元が見えず、ふたの外れたマンホールや側溝に落ちるおそれがあり、外を移動するのは大変危険です。

あらかじめ周辺の危険性を確認し、避難所への避難経路の安全性を確保してください。

冠水した道路を移動するときは、長靴をはかずに歩きやすい服装で、棒状のもので足下を確認しながら、できるだけ2人以上で行動してください。

内水氾濫に注意

急激な大雨で、水路等から道路などへ水があふれ冠水する「内水氾濫」が発生することがあります。

河川の状況を確認して内水氾濫と判断される場合、無理に屋外へ移動せず、屋内のなるべく高い場所等へ垂直避難してください。

浸水深が浅いときは、土のう等の設置により、家屋への浸水を防ぎ、風呂・洗濯機・トイレ等の排水口を水のうで栓するなど逆流を防いでください。

停電への備え

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯電話の充電器などを準備してください。

冠水箇所へ自動車で進入しないでください

エンジンが停止し立ち往生する危険性があります。

自動車での冠水箇所への進入や、道路や鉄道などの下を通る「アンダーパス」など周囲より低い場所の自動車通行を避けてください。

万が一、車内にまで浸水してしまった場合は、速やかにエンジンを停止し、車外へ避難してください。

大雨の際にはできるだけ運転を控えてください。

▶ 冠水危険箇所（鳥取県WEBサイト）

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/312616.htm>



食料・水等の備蓄

浸水の長期化で外出が困難になったときに備え、食料・水・生活必需品等を備蓄してください。

（最低3日分、推奨7日分）

【備蓄の例】

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど

その他 トイレットペーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく、カセットコンロ など

3 警戒・即応体制の確保等

(1) 県の体制

● 県の体制区分 (大雨・台風関連)

- **注意体制** 気象注意報 (大雨・洪水・高潮等)、水防警報 (待機・準備)
- **警戒体制 (1)** 気象警報 (大雨・洪水・高潮・大雪・暴風等 (陸上での最大風速が25m/s以上となることが予想される時))
水防警報 (出動、指示)、河川洪水注意報・警報 等
- **警戒体制 (2)** 記録的短時間大雨情報、土砂災害警戒情報
台風の暴風域が鳥取県を通過、河川洪水警報
顕著な大雨に関する情報 等
→鳥取県災害警戒本部を設置
- **非常体制** 特別警報、県下全域にわたる風水害 等
→鳥取県災害対策本部を設置

⇒台風の暴風域が本県を通過する場合等、状況に応じ、早めに災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

各部局、各市町村におかれては、連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします。

- ◆ 警戒体制(2)以上の時などに県から市町村にリエゾンを派遣。
- ◆ 市町村の災害対応力を超えると予想される場合に、被災市町村へ支援チームを派遣。
- ◆ 関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設。

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共土木施設の対応

1 県民や自治体への情報提供

- 住民避難に資する水防警報や土砂災害警戒情報を発表、市町村に伝達。 県HPから確認できます
 - 河川や道路のカメラ映像の提供 鳥取県防災情報ポータル(<https://tori-bousai.jp/>)
 - ※鳥取県防災情報ポータルから以下の情報が確認できます
 - 道路の交通規制などの情報、河川の水位情報や土砂災害危険度、ダム の水位情報
 - 「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表(<https://www.pref.tottori.lg.jp/323310.htm>)
- 水防月間(5月)、土砂災害防止月間(6月)における啓発活動の実施。

2 災害復旧

- 令和5年台風第7号災害
 - 県管理施設(道路・河川・砂防)353箇所のうち241箇所(68%)完成、110箇所(31%)施工中
⇒出水期までに265箇所(75%)完成へ
- 令和6年11月豪雨災害
 - 県管理施設(道路・河川・砂防)21箇所のうち19箇所(90%)施工中
- 出水期中に工事を継続する箇所は、適切な防災措置(作業員や資機材の退避、流出防止対策等)を講じ、安全対策を徹底する。
- 降雨状況や局地豪雨予報等を踏まえ、大雨の発生や水位に応じたパトロールや水防活動を行う。

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共土木施設の対応

3 公共土木施設の管理(県土整備事務所等に周知、確認済)

(1) 河川・砂防

- 排水機場や樋門等が洪水及び高潮に対して確実に稼働するよう、市町村と連携した操作を実施する。
- 県内約293kmの堤防、排水機場6箇所 の点検済。
- 浸水常襲箇所への排水ポンプ車[配備台数: 東部(国2、県3)、中部(国4、市2)、西部(国1、県1)]や人員を配置する体制をとる。
- 水位計174基、河川監視カメラ175基による河川監視(令和6年度に水位計8基、カメラ10基を増設)。
- 出水期に備えた訓練・協議会の実施。
令和7年度鳥取県水防訓練(5/18 千代川)、風水害対策訓練(4/21)、土砂災害に関する防災訓練(5/30)、流域治水及び減災対策協議会(6/3)

(2) ダムの管理

- 県内全ての治水・利水ダムで治水協定を締結しており、洪水が予想される場合は事前放流を行い、治水容量を確保する。
- 気象状況・ダム水位等を注視し、ダム放流にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとる。
※佐治川ダム・・・放流情報を市を通じて各戸に設置されている「音声告知端末」を活用して伝達。
緊急時に備え、県(ダム管理者)と地元代表者との緊急連絡網を構築。
令和5年台風第7号の流入土砂(約10万m³)の撤去が完了し、洪水調節容量確保済。

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共土木施設の対応

(3) 道路

- 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)
 - 鳥取道及び山陰道は、基準雨量を超過した場合に事前通行止めとし、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。
- 冠水等への対応
 - カメラによる監視・大雨時のパトロールを強化し、冠水が発生した際に速やかに道路規制を行い交通を誘導する。

4 災害発生時における初動体制の強化(各機関に周知、確認済)

(1) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- 「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいた対応を行う。

(2) (一社)鳥取県測量設計業協会との災害時応援協定に基づく対応

- 災害応援協定(業務の内容)を拡充し、ドローン等を活用した、山間奥地を含む被災状況の早期把握及び測量を発災直後から実施する。

(3) 鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会との調整

- 被災時の現地調査への同伴、復旧方針及び工法検討への助言を行う。

農林漁業者等への注意喚起

1 農業関係

○農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等へ対策を講じるよう連絡。(5/28)

[連絡内容] 農作物の管理について(水稻、麦、大豆、野菜、花き、果樹、飼料作物、家畜管理)
[農作物の状況と現場の対応]

スイカ	トンネル栽培は果実肥大中(6月中旬から出荷予定)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
白ネギ	夏ネギの出荷始め(5月20日から出荷開始、進捗5%程度)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
ブロッコリー	初夏どり作型が出荷中(出荷約4割終了)。排水対策及び降雨前後の防除指導。

2 農地・ため池関係

○大雨に対する防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(5/26)

3 林業関係

○各農林局等から管内事業者及び各市町村に対して土砂災害等の注意喚起を行った。併せて、二次災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけを依頼(5/26)。

○各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起を行い、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼(5/26)。

4 水産関係

○市町村及び各漁業協同組合や水産関係団体向けに、漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、及び漁業用施設等への防災措置について、注意喚起を実施。(5/27)

公共交通機関の対応

◆休日・夜間を含め、交通事業者との連絡体制を確立済

⇒運休等が発生した場合は、交通事業者や県のホームページ、あんしんトリピーメール等で県民に随時情報提供する。



危機管理ホームページ
(風水害に関する注意情報)
2次元コード

危機管理ポータルサイト
鳥取県の危機管理

とりネット | 危機管理部 | サイトトップ | 災害等発生情報 | 防災危機管理関連情報 | ぐらしの防災情報 | 危機管理部の組織

現在の位置: 危機管理部 → 鳥取県の危機管理 → 災害等発生情報 → 災害時の情報一覧 → 風水害に関する注意情報

鳥取県防災アプリ
あんしんトリピーなび
登録はこちら

あんしんトリピーメール
登録はこちら

鳥取県
原子力防災アプリ

さいがいにそなえましょ
ぐらしの防災情報

風水害に関する注意情報 Information about storm and flood damage

交通情報 Traffic information

列車 Train	(天候による影響なし No impact from weather)
高速バス Express bus	(影響あり Affected)
路線バス Route bus	(天候による影響なし No impact from weather)
航空機 Airplane	(天候による影響なし No impact from weather)
フェリー Ferry	(影響あり Affected)

公共交通をご利用の際は、最新の気象情報に加え、公共交通機関の運行情報を各交通事業者のホームページ等で確認の上行動をお願いします。

関係機関の対応

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の整備

- ・グループ会社を含めた連絡体制の確認、事態に即応した対応体制移行 など

○鳥取県等と連携した迅速な被害状況等の情報収集・共有

- ・鳥取県様・自治体様等と連携した、迅速な被害状況等の情報収集とWeb会議での情報共有
- ・ビジネスチャットを使用した県土整備局様・NTT西日本様との倒木情報の共有

▼停電情報



○きめ細やかな情報発信

- ・停電情報アプリ・HP等での、停電復旧見込み時期等のきめ細やかな情報発信

NTT西日本(株)の対応

○県関係機関との連携強化

- ・県土整備局様、中国電力NW様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・気象台様からの情報、SNS等からの被害情報の収集体制強化
- ・ホームページ、広報車等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ホータブ衛星電話、ドローン、移動電源車等の災対機器の点検、準備済み
- ・浸水の想定される通信設備設置局舎への浸水防止板設置（8局舎） 6月上旬設置完了予定

○社内関係部への指示

- ・被害に備えた保守体制強化、リエゾン派遣の準備を指示済み